

# “鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第37号  
令和4年2月21日発行  
黒沢尻工業高等学校

## ○ “興味”を持つことの大切さ

『興味がない』とすぐに言ってしまう人は、大抵成功できません。たまたま良い会社に入ったとしても、途中で成長が止まります。」と、ある大学教授が語っている本を読んだことがあります。1人の学生を例に挙げて「その学生は、『そっちには興味が無いので、重要な事だけ教えてください』というのが口癖でした。彼は自分の興味のあることには非常に積極的でしたが、それ以外はサッパリ、と言った具合です。」そして「彼は結局どうなったか？という、20代後半から全く伸びなくなりました。後から入ってくる若手にもどんどん抜かれてしまいました。」ということでした。

『興味が無い』という発言は、2つのマイナス要因をあるそうです。

まず、『興味が無い』と自分で線引きをすることは、自分の枠組みを知識に押し付けてしまっています。これは柔軟な発想ができなくなる行為です。『興味が無い』と発言することで、成長への道を自分で閉ざしている可能性が高いです。

次に、『興味が無い』という発言は、周りの人にとっても攻撃的な印象を与えます。“嫌い”よりも“無関心”のほうが人を傷つけやすいそうです。そうすることで人は離れていきます。協力者を失うことは、将来的に大きな損失につながります。

学校生活で気になるのが、他人や物事になかなか興味関心を示そうとしない人がいることです。他人に自分のことを知られるのが嫌で、自分も他人に興味を持たないようにしているのかも知れませんが、学校はコミュニケーションを養う場です。コミュニケーションの基本は、他人に興味を持つことです。興味を持てば、聞く耳を持つようになり、質問もできます。違う考えをシェアすることで共感し、認め合うことができます。

面倒くさがって、すぐに『興味がない』と思うのは、将来的に自分の視野を狭めて成長を妨げてしまう恐れがありますから、是非、興味関心を持つことを心掛けてみてはいかがでしょうか。

## ○練習や勉強の質と意識の考え方

我々の高校時代は、たくさん練習したチームが勝つのが当たり前で、休日は1日練習がごく普通でした。最近では、徐々にその考え方が見直され、科学的なトレーニングや効率的・合理的な練習が取り入れられて、時間が短縮されつつあります。

ここで皆さんに考えて欲しいのが、部活動や勉強に取り組む際の意識です。効率良く練習や勉強をしているつもりでも、肝心な本人の意識が疎かでは論外です。効率の良さを“楽する”ことに置き換えて全く苦勞しなくなると、将来的に苦しい場面から逃げる傾向になってしまうからです。

部活動や勉強が終われば、ゲームや動画鑑賞等、楽しみがたくさん待っています。リフレッシュして楽しむのは大いに結構なことですが、頭の中に“ケジメ”を保ち、自分を律する必要があります。全体での部活動や学校での勉強以外に、自主練習や自学自習の習慣を身に付けましょう。レギュラーになって勝ちたければ、人一倍努力するしかありません。より良い大学や就職先を勝ち取るには、知識・理解度を高めて成績を上げるしかありません。考査が終わった今、新年度に向けての鍛錬期と考えて、自分を見つめ直しましょう！

